

あいのて

平成27年3月20日発行

発行：京築教育事務所

人権・同和教育室
(TEL：0979-83-3602)

タイトル「あいのて」は、がんばっている人には絶妙のタイミングで“合の手”を入れる、困った人には“愛の手”を差し伸べることができる、そんな人権・同和教育室でありたいと願ってネーミングしました。

はじめに

あたたかい日差しとともに、さわやかな風が頬をなでながら流れていきます。今年も春の訪れを感じる今日この頃です。

人権教育に関する情報を少しでも、現場で活躍されているみなさんに届けられたら…と始めた“あいのて”も、この3月でまる3年を迎えました。中学校や高校でいえば3年間で卒業を迎える時ではありませんが、わたしたち人権・同和教育室にとっては通過点の一つに過ぎません。これからも、“あいのて”を通じて、みなさんに情報をお届けしますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、今回の“あいのて”は、①平成27年度の人権教育関係研修会等日程、②「人権教育の系統的プログラム開発指定校事業」について、③今年度好評をいただいた特別研修会「『個別的な人権課題』指導力アップ講座」の第2弾、④学校等から要請いただいた研修内容を中心に紹介しています。

是非、ご一読ください。



平成27年度人権教育関係研修会等日程

●京築教育事務所人権・同和教育室主管研修会

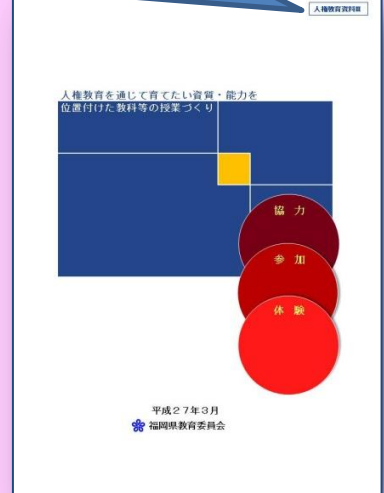
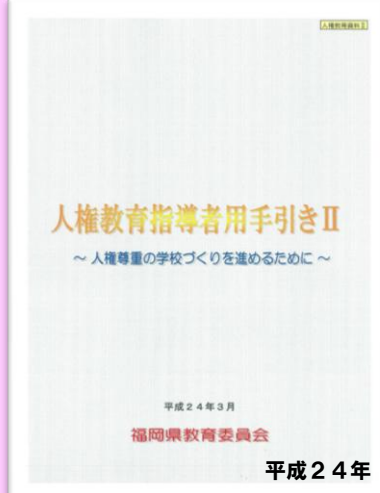
平成27年 6月15日 (月)	14:00 ～ 16:40	校長・人権教育担当者等 合同研修会	みやこ町 豊津 公民館	○説明「人権尊重の視点からの学校づくり」 ○講話「今後の人権教育の推進について」(仮題) 講師 神戸親和女子大学 新保 真紀子さん
平成27年 9月2日 (水)	9:30 ～ 12:00	教頭人権教育研修会	京築教育 事務所	○説明「管内における人権教育の推進について」 ○講話「人権尊重の学校づくりに向けた教頭の役割」(仮題) 講師 田川市立金川小学校 中野 直毅さん
平成27年 11月18日 (水)	13:50 ～ 16:40	人権教育担当者等研修会	京築教育 事務所	○演習「人権教育推進計画作成のポイント」 ○実践発表「本校の人権教育の取組」 ○協議「本校の人権教育の成果と課題」

●福岡県人権教育研修会

平成27年 7月29日 (水)	1日開催	第1回 福岡県人権教育研修会 (人権尊重精神の育成)	福岡 市民会館	○午前：全体講演 ○午後：分散会 ※各校より1名以上の参加
平成27年 8月25日 (火)	半日開催 (午後)	第2回 福岡県人権教育研修会 (進路と学力の保障1)	福岡 市民会館	○全体講演 ※各校より1名以上の参加
平成27年 10月2日 (金)	半日開催 (午後)	第2回 福岡県人権教育研修会 (進路と学力の保障2)	苅田町立 苅田 小学校	○研究発表会と同時開催 ・授業公開、研究発表等 ※各校より1名以上の参加
平成28年 2月16日 (火)	1日開催	第3回 福岡県人権教育研修会 (社会教育)	福岡県立 社会教育 総合セン ター	○午前：全体講演 ○午後：分散会 ※希望参加

人権教育資料Ⅲ

人権教育の系統的指導プログラム開発指定校事業(平成24～26年度)
「人権教育を通じて育てたい資質・能力を位置づけた教科等の授業づくり」



人権教育資料Ⅰ

福岡県のホームページでダウンロードできます

人権教育資料Ⅱ

福岡県のホームページでダウンロードできます

人権教育資料Ⅲ

本年度末にリリースされます！
京築での取組を是非ご覧下さい！

教科等の主眼を達成するための手立て

有効な手立て
の明確化

関連づけ

発達段階における
能力の系統化

人権教育を通じて育てたい資質・能力を育む手立て

人権教育資料Ⅲ

「推進プラン」の中で述べられている「技能的側面」の指導方法を具体化
人権教育を通じて育てたい資質・能力の中でも特に「コミュニケーション能力」「人間
関係調整能力」「想像力・共感的理解力」を取り上げ、県下21校で研究を行ってきました。
京築地区では今元小、葦島小、今元中、青豊高の4校が連携し、「考えや気持ちを適
切かつ豊かに表現し、また、的確に理解することができるような、伝え合い、わかり合う
ためのコミュニケーションの能力やそのための技能」について研究開発を進めてきまし
た。その成果がこの人権教育資料Ⅲに掲載されていますので是非ご活用下さい。

「人権教育資料Ⅲ」

○理論編

- ・ やってみよう！人権感覚育成の授業づくり
参考「よりよい人間関係を築く学校生活や授業」
- ・ 人権教育を通じて育てたい資質・能力の主題研究への位置付け

○実践事例編

- ・ コミュニケーション能力
- ・ 人間関係調整能力
- ・ 想像力・共感的理解力

人権の視点で
全ての教育活動
を見てみると...

3つの資質・能力のうち京築では
コミュニケーション能力についての
プログラムを開発しました！



特別研修会『個別的人権課題』指導力アップ講座

昨年度の初任者・10年経験者を対象にしたアンケート結果からは、同和問題、外国人をはじめとした右図のような人権課題に関する知的理解が不十分である現状が明らかになりました。このことは、アンケートの対象者に限ったことではないのではないかと考えています。



子どもたちへの指導に際し、教職員が課題について正しく理解することは大切です。

そこで、本年度、個別的人権課題に関する理解や認識を深めてもらうため、標記の研修会を5月と8月の2回にわたり開催しました。各市町より、小中学校の教諭や養護教諭、講師の先生方の参加がありました。

本年度は、福岡県の重点課題である「同和問題」を取り上げ、講義や演習を行いました。その時の内容や参加者の声を紹介します。

教科等の目標やねらいを踏まえつつ、児童生徒一人一人が、個別の人権課題を自分の問題としてとらえ、自己の生き方を考える契機となるような指導を行っていくことが望まれます！

平成26年度講座では

特別研修『個別的人権課題』指導力アップ講座Ⅰ
平成26年5月15日(木)

「被差別部落の歴史」

～中世から近世の部落史について～

- 1 江戸時代の身分制度
- 2 民衆の間に生まれた差別意識
- 3 教科書でおさえるポイント

福岡県教育庁宗築教育事務所 人権・同和教育室

主な講義内容

- 1 **江戸時代の身分制度**
 - ・江戸時代は、住む場所によって身分が決められていたこと
- 2 **民衆の間に生まれた差別意識**
 - ・人々の中にある「ムラ意識」や「ケガレ意識」が差別に関わっていたこと
 - ・差別されていた人々が、生活に欠かせない仕事や芸能・文化を担っていたこと
- 3 **教科書でおさえるポイント**
 - ・差別のきびしさのみが強調されるのではなく、「力強く、したたかに芸能や文化を育ててきた」姿を通じてプラスイメージがもてる授業
 - ・「ちがうものを排除する」「理解できないものを差別する」そのような民衆意識があらわになった歴史から、よく知らないのに人のつづきや思いこみで決めつけるおかしさを、身近な問題として捉え、自らを見つめ直させる授業

参加者の声：「教科書の記述をもとにした話で、部落史の流れをまとめて聞くとわかりやすかったです。」

平成26年度特別研修会
「個別的人権課題」指導力アップ講座Ⅱ
平成26年8月26日(火)

「解放令以降の部落史について」

- 1 中世から近世までの部落史
- 2 解放令以降の部落史
- 3 解放令以降の学習活動例の紹介
- 4 同和問題を正しく理解させるために(演習)

福岡県教育庁宗築教育事務所 人権・同和教育室

主な講義内容

- 1 **中世から近世までの部落史**
 - ・講座Ⅰの振り返り
- 2 **解放令以降の部落史**
 - ・社会問題としての部落差別が成立したこと
 - ・戦後、部落問題解決に向けて様々な取組が行われたこと
- 3 **解放令以降の学習活動例の紹介**
 - ・社会科教科書でおさえるポイントについて、「解放令」と「水平社宣言」の学習活動例の紹介
- 4 **同和問題を正しく理解させるために(演習)**
 - ・子どもたちに「同和問題」を正しく理解させるための内容や方法をグループで見出すワークショップ

参加者の声：「前回の研修とあわせて、今回で2度目の参加でした。今まで差別や部落などの言葉は知っていましたが、歴史の中だけのものとして考えていました。しかし、現代においても人権問題は大切なものであるし、演習を通して多くの意見や解決の方法を知ることができてよかったです。」

好評につき、第2弾『個別的人権課題』指導力アップ講座」開講決定！

4月に案内を出します。多くの方の参加をお待ちしています。

平成27年度講座の特徴

いずれか1講座のみの受講もOKです！

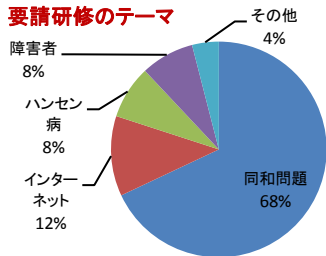
平成27年度は、個別的人権課題の中から、「ハンセン病患者等」をテーマに取り上げます。
正しく理解してもらうために、具体的な資料を使って分かりやすい説明や、実際の授業で使える学習プログラムの紹介など、参加者の意欲が高まる講座にしていきます！

テーマ「ハンセン病患者等」
講座Ⅰ：平成27年6月8日(月)
 ○ 教職員の知的理解に関する内容
講座Ⅱ：平成27年8月27日(木)
 ○ 児童生徒の指導に関する内容



校内研修への要請メニューの紹介

平成26年度個別的な人権課題の要請研修のテーマ



※今年度はとりわけ「同和問題」をテーマにした要請が多かったです。

様々な研修の要請にお応えしています！

● 「同和問題」「インターネットによる人権侵害」「ハンセン病患者等」「障害者」「外国人」「高齢者」等、個別的な人権課題に関する研修

● 「人権が尊重される授業づくり」などに向けた、体験的参加型の研修

● 「福岡県人権教育推進プラン」に関する研修

● 保護者や地域向けの研修



学校における人権教育を推進していくために、研修内容の改善・充実を図ることが大切です。

～日々の授業における人権感覚の育成に向けて～
人権が尊重される授業づくり10の視点



～人権が尊重される人間関係づくり、授業づくりに向けて～
人権が尊重される授業づくり10の視点



グループの課題(例)

- 人権が尊重される授業づくり
- 人間関係づくり
- 実践行動のとれる子どもの育成
- 個別的な人権課題(同和問題、ハンセン病等)への取組
- 地域・家庭との連携
- 小・中連携
- 校内研修の充実
- 組織的な推進に向けて



○ OPTA人権教育研修会
○ 各市町人権教育研修会

人権教育に「視聴覚教材」を活用してみませんか？

人権教育啓発用教材を利用することで知的理解を深め、人権感覚の育成を効果的に行えます！

DVDを活用した感想を紹介します

○「声を聞かせて」

- ・ 携帯電話等の問題点や親と子のかかわりについて深く考えることができました。様々な問題を親子に投げかけるのにふさわしい内容だと思いました。
- ・ 携帯電話等の使い方やいじめに関する感想も多かったです。また同和問題の解決に関心をもった生徒もいました。

○「直子のブローチ」

- ・ 具体的な事象の中で、部落差別がいかに人権を侵害することになるか認識を深めることができました。

○「とべないホテル」

- ・ 各学年の発達段階に応じて、仲間の大切さや思いやりなどを感じとれるとてもよい教材でした。

○「夕映えのみち」

- ・ インターネットの影の部分について、「他人ごとではないと考えて理解を深めた」という感想が多数ありました。

視聴覚教材の予約手続きは とても簡単です！

- ①電話・FAXでも予約できます。
- ②京築教育事務所のホームページでビデオの内容を確認できます。
- ③2週間の貸し出しができ、他の予約がなければ延長もできます。
- ④内容の確認や授業での活用法等のご相談も承ります。

「個別的な人権課題」の認識を深めるために…

例) 被差別部落の歴史
ハンセン病について
インターネット・携帯
障害者差別
女性差別
いじめ 等

あらゆるジャンルを取りそろえています。是非研修会等でご活用ください！